



文：小川 康成

抜けている？余っている？

年末が近づいて来て、皆様のご手元にも保険料の控除証明が郵送（もしくは保険証券に添付）される時期となってきました。ご不明な点はお問い合わせください。

同時に弊社へのお問い合わせでも多くなる時期ですが、最近感じるのは、そもそも控除証明の対象保険どこか、どこに・何の保険に加入しているのかすらわかっていられない方が多いという事です。

ご周知のとおり名古屋市では「自転車の安全で適正な促進に関する条例」が今年の4月に施行され、10月から「自転車損害賠償責任保険等」の加入が義務化されました。

この「等」という文字がなかなか厄介で、つまり自転車に乗車して人を撥ねたり、自動車等にぶつかったりしてしまった場合の賠償する為の資金を保険で確保しなさい。という意味になります。

秋以降、法人さん個人さんを問わずお問い合わせを多数いただいておりますが、個人の場合には、必要な補償の重複になる事が時々見受けられます。

先日も月々500円で「自転車共済」というものに入られたお客様とお話ししましたが、マンションにお住まいなので、火災保険にも同様な補償が付いて居る場合が大半である旨をお話ししました。奥様も既に加入する保険会社へお問い合わせされたそうですが、「そのような補償はない」との回答を受けたので、改めて年間6,000円の「自転車共済」に加入されたそうです。

「水漏れ事故などで補償されるタイプ」の補償があればそれで使えるはずですし、マンションなら加入している場合もあるのですが？とお話すると、「あ、水漏れ事故で補償された事があります！」との事。「？」と思い改めて証券を後日送って頂くと、たしかに自転車事故まで補償されるタイプの補償になっております！

「現在の加入先にお問い合わせした時の行き違いでしょうか、加入しなくてもよかったですね？

私達i・ストリームは、きちんとお客様のご家庭全体の補償を見て、無駄や不足を上手に調整する。そんなお手伝いをさせて頂いております。（ご希望に応じて「保険BOX」や証券ファイルの作成などのお手伝いも無料でさせて頂いております）

そのためには、何よりもお客様との「信頼関係」と「ご加入情報」が必要です。良いご提案、点検をさせて頂くためには我々も一部の情報では判断できない事が多々ありますので、上手に我々の知識をご活用いただけると、今回のような家計の無駄な出費を抑えられるかも知れませんね。

クラークメンバー 近況報告

久しぶりの集合！

岩瀬 英之

今年で 25 歳になり、同級生と集まる機会も減ってきました。就職し社会人もいれば、大学院等に進学して、春から社会人もいます。そんな中で、東京で就職した同級生の一人が連休を利用して帰ってくるということで、集まることになりました。成人式で再会して以来、定期的に集まっていたのですが、社会人になるメンバーが増えてからはなかなか集まっていなかったのが、とても盛り上がりました。学生の頃は近況報告やくだらない話ばかりでしたが、最近の話の内容は、気がつくと結婚の話や仕事の話など、将来的な話が中心になっていて少しは大人になったのかと感じました。今までは三～四時間ほど飲みながら話をして、その後はカラオケに朝までいっていましたが、今回は二時間ほどでお開きになり、カラオケに行く事もなく終了。

もうすでに学生の時のようにはできなくなっていることが少し寂しかったです。今、集まっている時間は大事だと思うのでこれからも定期的に集まることができればいいなと思います。



年賀状の料金は？

今年の 6 月にハガキの料金が 52 円から 62 円に変更となりましたね。

年賀はがきは 52 円のままと聞きましたが、何か条件はあるの？と気になったので調べてみました。

年賀はがきの料金（52 円）が適用されるのは、12 月 15 日から翌年 1 月 7 日の間に差し出されるものに限り、更には以下の条件があるそうです。

- ・日本郵便が発行する年賀はがき
- ・通常はがき（私製のものを含む）の表面に「年賀」の文字を朱記したもの

ですので、年賀はがきであっても 12 月 14 日に投函してしまうと 52 円の料金が適用されないのです！これは注意が必要です。

ちなみに 1 月 8 日の最初の取り集めまでに郵便ポストに投函されたものについては、52 円が適用されるので、1 月 7 日の夜であればギリギリ間に合う様です。また、喪中はがきは通常値段の 62 円が適用されるそうです。

あくまで 52 円が適用されるのは年賀はがきのみなので、期間中であっても普通ハガキを 52 円切手で送らないようにご注意ください。

来年は成年！



小池奈菜子



白駒池と乗鞍、紅葉の旅

台風の影響で 9 月の連休は出かけることができず、10 月 7 日から 9 日で蓼科の奥の白駒池の紅葉を見に行きました。

以前から幻想的でいいところだと聞いていたので、行ってみたかったのですが、想像していたよりちょっと…という感じでした。

その後は、高ボッチ高原に行きましたが、霧がかかって諏訪湖が時々顔を出すくらいで、富士山は見えませんでした。頂上ではアマチュア無線をやっている人が大勢いました。

ここから諏訪湖の花火を見に来る人もいるとか。この後、乗鞍を目指して走り、昼からエコーラインのバスに乗り頂上へ。頂上は凄い人で帰りのバスを待つこと 50 分、バスが 7・8 台折り返し運転をしているのですが中々順番が来ない状態、皆さんこんな乗鞍は初めてだと言っていました。その日は一の瀬園地で泊り、金沢に居る大学時代の友達ご夫婦が、安曇野と乗鞍の観光している事を知り、夜に彼女たちと会い宴会をしました。思いもよらない再会で感激でした。乗鞍の紅葉も大分ふもとまできていてとてもラッキー。

藪原にでて国道 19 号の道の駅を 4 ケ所も寄って帰って来ました。



小川 とも子